

大門だより

No. 1
(416号)

荒川区立大門小学校
校長 油井 喜久
平成31年 4月 8日

大門小ホームページ

荒川区立大門小学校

検索

《本校の教育目標》 考える子 やさしい子 たくましい子

「1年の初めに当たり」

校長 油井 喜久

校門脇の桜が葉桜になりながらも頑張り、「進級おめでとう。私も皆が登校してくるまで頑張ったよ。今年も1年頑張ろうね。」と子供たちの登校を見守ってくれているかのようでした。登校してくる子供たちはどの子も、1学年進級した気持ちを大切に、誇らしげに登校して来ているようでした。

学校便りで何回か触れましたが、大門小学校の課題の一つに学力の向上（基礎的・基本的な学力の確かな定着）があります。この課題を解決するために大門小学校では、寺子屋による補充学習や4年生以上で実施した個別最適化学習に取り組んできました。教員の指導力向上ということでは校内研究の対象を算数とし、問題解決型学習の指導の質的向上に取り組んできました。その一つの指標として、4月に行った区学力調査と同じ問題を2学期、3学期にも行い児童の学力の伸びを検証してきました。下の表は目標の目安とした平成30年度の荒川区全区の算数の平均正答率と、本校の1学期、3学期に実施した算数のテストの結果です。ほとんどの学年で3学期には区の平均を上回ることができました。**頑張ればできる**こういう強い気持ちを持ってほしいと思います。願わくは、4月のテストで区平均を上回る。そんな日が来ることを願っています。

荒川区学力調査（算数平均正答率）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
30区平均	82.4	84.6	76.5	77.7	65.7	68.5
1学期		74.0	69.8	72.0	52.9	65.0
3学期	75.3	91.3	81.0	84.7	56.9	87.6

*1年生は、1年間の学習のまとめの時期である3学期に、学力調査を行います。

頑張ればできる大門の子供たちですが、なかなか向上しないのが「挨拶」です。朝のあいさつ運動などに取り組んできましたが、一時期、元気に挨拶できる子が増えてもまたすぐに落ち込んでしまいます。先生方とも話し合ってきましたが、妙案が見つかりません。そこで今年は、先生たち主導のあいさつ運動はやめて、子供の意識の高まりを待ってみることにしました。どのような変化が生まれるでしょうか。（入学式では、1年生に挨拶の話をしました。）挨拶は、人間関係作りにおいて非常に重要な要素です。挨拶には、そこに他者の存在を認め、積極的にこちらから関係性を築いていこうとする側面があります。挨拶をして挨拶を返してもらえなかったときに嫌な思いがするのは、こちらのその思いを認めてもらえなかった、と感じるからではないでしょうか。

御家庭でも、朝お子様を送り出す時に「元気に挨拶をして、良い1日をスタートさせるのよ。」というような励ましをお願いします。そうすればお子様も「ようし。」という気持ちになって、1日の良いスタートを切ることができると思います。もしかすると「分かった！行ってくる。」と元氣よく飛び出していくかもしれませんね。

大門小学校の新年度がスタートしました。今年度も大門小学校の教育活動に、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。